

君に贈る物語

先輩から後輩へ、本のレコメンデーション!!

先輩が後輩に読ませたい1冊を選び、それぞれ感想を寄せてもらいました。

先輩: 青山 寛のレビュー

新人の千田君はまじめでコツコツと頑張るいいやつですが、自分から話をするという事があまりありません。今までずっとそういうキャラだったのかも知れませんが、営業という職に就いたからには人と話してなんぼ!もっと積極的に人に話掛け、関係を深めてほしい!何より、もっと色々な事で和気あいあいと話がしたい!そう思い、安直な私はこの本を薦めました。オリラジの敦ちゃんが推しているから間違いないと(笑)

本書は雑談の重要性や、雑談のテクニック、雑談が生み出す可能性を45個のメソッドを用いて分かりやすくまとめてあり、実用性も高いと感じました。雑談の全てのシーンにおいて「一流、二流、三流」とカテゴライズされているのも面白く、自分の雑談のスキルがどの程度かが分かります(私はほとんど二流止まり 泣)。またちょっと考え方ややり方を変えれば、一流の雑談が出来るという感じがいくつもありました。

人に話掛ける、雑談をするという事は、その人の事を知り、仲良くなって関係を深めたいという気持ちの表れだと思います。私はいつも「お客様と仲良くなる」という目標を持って営業しており、実際仲良くして下さいお客様がありがたいことに多数おられます。どのお客様とも雑談をきっかけにして、距離を縮められたと思うので、これからも雑談で深い人間関係を築き、より良い仕事出来る様がんばります!

最後に、積極的に雑談をしてくるNEW千田にもご期待下さい!

マーケティンググループSM
青山 寛

後輩: 千田 拓実のレビュー

「あまりの営業成績の悪さに新卒入社3カ月で地方に左遷。断られるのがイヤで見込み顧客へのアポイント電話ができず、自分のトークを聞かれるのが苦痛で上司と同行営業するのが苦手だった。」これは、今となってはコミュニケーションのプロである著者のかつての実体験だそうです。私はこの手の本は、もともとトークに得意意識を持っていたり、昔から話すことが好きだったり、という人が書いているイメージがあったため、少し驚きとギャップを感じました。と同時に、元々コミュニケーションに苦手意識を持っている人でも「雑談力」は、後天的に身につけることができる武器でもあるのだと気づかされました。

実際に読み進めていくと、これまでぼんやりしていた「雑談の上手さとは何か」がきっちり言語化されており、どれも腑に落ちることばかりでした。私が一番印象に残ったのは、話を聞く上でのポイントとして挙げていた「一流は、映像化して聞く」ということです。私自身、人の話をちゃんと聞いているつもりでも、どこかに聞き漏らしたことがあったり、100%の理解には及ばなかったりすることが度々あります。ただ、「相手と同じ映像をイメージしながら話を聞くと、そこに共感が生まれ、あたかも同じ体験をしたかのように話ができる」という考え方に初めて触れ感心しました。この本に挙げられていた「友だちと映画を見終わった後の会話は弾む」という例はまさにその通りだと納得しました。

日頃、先輩に営業同行等をさせていただく中で、雑談によって有益な情報を得られたり仕事に繋がるヒントが見つかったりなど、「雑談できる関係性」の大切さを実感します。この本に書かれていた話し方や聞き方のポイントは、すべて一朝一夕で身につけられる訳ではないかもしれませんが、かといって特段高度なスキルが必要かと言われればそうではないとも感じました。だからこそ、今後もより一層様々な相手との深い関係性づくりを目指し、日々の雑談を磨いていきたいです。

今回の書籍

『雑談の一流、二流、三流』
著者: 桐生 稔
出版: アスカビジネス
価格: ¥1,540 (税込)



マーケティンググループSM
青山 寛

マーケティンググループ
千田 拓実



ぷちデザイン講座 for ノン・デザイナーさん

Lesson#12 意外とある!?身のまわりの黄金比

「黄金比(おうごんひ)」という言葉、一度は聞いたことがありませんか?

「人が美しいと感じる比率」「ちょうどいいバランス」、といった認識で間違いありませんが、具体的な数字で表すと「1:1.6」の比率になります。今回は身のまわりにある「黄金比」をご紹介します。

黄金比を用いた芸術作品

モナ・リザの顔
(レオナルド・ダ・ヴィンチ)

他にも...
・ミロのヴィーナス
・富嶽三十六景
「神奈川沖浪裏」 など



美しさの秘密

黄金比を用いた日常生活

名刺
(正確には1:1.65)

他にも...
・タバコの箱
・クレジットカード など



こんなところにも!

utsukushii
himitsu
1:1.6

Topics

「白銀比
(はくぎんひ)」

日本で古くから大工の間で「神の比率」と呼ばれます。「黄金比」に対してこちらは「1:1.4」の比率であり、キャラクターによく用いられているとか。皆さんもよくご存知のあの国民的キャラクターも実は……?



～編集後記～

▶特集でもご紹介したように、駒田印刷は今年100周年を迎えます。100年前、1923年の海外に目を向けるとパリでは第1回ル・マン24時間レースがスタート。当時の自動車技術を思えば、24時間走り続けること自体、大変なチャレンジだったのではないのでしょうか。日本が参戦を開始したのは50年前からですが、以来、エンジニアもドライバーも進化を続け、ここ4年間はトヨタが連覇。今年5連覇を達成できるかどうか非常に楽しみです。

▶1923年4月、ニューヨークではヤンキースタジアムが完成。伝説的プレイヤー、ベーブ・ルースが大活躍していた時代です。初試合はレッドソックス戦でヤンキースが4対1で勝利。100年後の今も両チームは長年のライバルとしてMLBに君臨し、ファンに愛されているのはすごいことです。ちなみに駒田印刷の地元球団・中日ドラゴンズは1936年誕生で今年は創設87年。阪神はその前年、横浜(前身の大洋ホエールズ)は1949年に誕生...と日本の球団もそこそこの歴史がありますが、今年はどんな盛り上がりを見せてくれるのでしょうか。



VOL. 75 2023

駒田印刷株式会社

この情報紙は駒田印刷とお取引頂いたお客様や、名刺交換をさせて頂いた方に、季刊で役立つ? 楽しい? 情報をお届けしています。どうぞ皆様でご覧ください。また、毎月同梱している人気のオマケグッズも、ぜひデスク周りやご家庭でお使いくださいネ!

Tel:(052)331-8881(代) Fax:(052)332-3178 <https://www.kp-c.co.jp>



ゆうメール



駒田印刷はおかげさまで

100 Years ANNIVERSARY
Founded in 1923

新年あけましておめでとうございます。ここから次の100年も、私たちはみなさまとともに歩み続けます。

Special オマケ

ウェットタイプの“スマホクリーナー”

サッとひと拭きで手垢、ハンドクリーム、お化粧汚れを落とすことができます。

駒田印刷は4月で“創業100周年”



駒田印刷でも1960年代まで活版印刷機が主流でした。

印刷
Printing

オフセット印刷が普及拡大しはじめる

明治初頭から新聞、雑誌、書物の普及とともに主流となっていた活版印刷(活字を組み合わせた版を作って刷る方法)に代わり、転写技術を用いた「オフセット印刷」が普及しはじまります。

写真植字が開発される

1924年には活字に代わる「写真植字」、いわゆる写植が登場。開発したのは、現在もフォントでおなじみの「モリサワ」の創業者・森澤信夫と「写研」の石井茂吉です。



駒田印刷は1980年代から大量の情報処理ができる電算写植システムを導入。

電算写植システム コンボテックス3000

物流
Logistics

トラック輸送の普及が本格化

1923年以降、震災復興のためにトラック利用が目目され、以降、鉄道輸送とともに重要な物流の手段となっていきます。



1930年代から活躍したオート三輪 写真は昭和前期の型(タイハツ)

震災関連書籍がベストセラーに

被害を免れた講談社は、震災後わずか1か月で克明なレポート「大正大震災大火災」を発行。これをきっかけに雑誌と書籍が同じ流通経路となり、大量販売が可能となりました。



キング 創刊1925年 大日本雄弁会講談社(現・講談社) 国立国会図書館蔵、Public domain

毎日サンデー 創刊1922年 毎日新聞出版、Public domain

ショートカットで洋装のモダンガールたちが、広告図案に多く登場するようになりました。

大量販売によって雑誌も大きな広告媒体に。次々と雑誌が創刊されました。



銀座通りを散歩するモダンガール。1928年撮影 Kagayama Kyojo, Public domain

今後とも宜しくお願い申し上げます



それから100年...

あらゆるものは飛躍的に進化しましたが、災害や病、戦争の不安は絶えず、厳しい時代であることは100年前と変わりません。だからこそ、私たちが先人たちのチャレンジ精神に学び、未来へ成長を続けていきたいものです。

1920年代

2023
新年特集企画

BUCK TO
100YEARS AGO

伝える技術はこうだった!

駒田印刷が誕生したのは1923(大正12)年。3年前から始まった不景気に続き、9月1日には関東大震災が起こった大変な年でした。しかし、復興とともに、さまざまなものが誕生・発展していくターニングポイントでもありました。

広告
Advertising

モダンズム香る広告の数々

1921年、カルピスのキャッチコピー「初恋の味」が登場。翌年には寿屋(現・サントリー)赤玉ポートワインのポスターに胸元にあらわにした女性の写真が採用されて大きな話題になるなど、印刷技術の進化とともに広告表現も多彩になっていきました。



KATAOKA, Toshiro(1882 - 1945) of Suntory, Public domain

情報
Information

FAXの原型が登場

1924年6月には東京・大阪の新聞社がドイツから写真電送装置を試験導入。のち1928年に、日本電気(現・NEC)が国内初の実用化を成し遂げました。

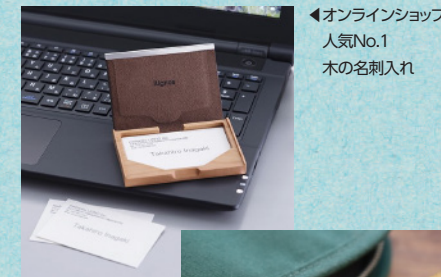
「富士電機製造株式会社(現・富士通)」の誕生

関東大震災によって壊滅的な被害を受けた電信電話設備の復旧にあたり、国は欧米で進んでいた自動交換方式を採用。この普及に寄与したのが、現在の富士通です。

Good Company, Good Job!

きらりと光る
企業さん

このコーナーでは弊社とお付き合いのある企業さんをご紹介します。今回は、建築用材をはじめとした木材の供給に携わる名古屋木材(株)さん。圧縮木材の新たな活用法を提案しながら、木の魅力を伝えることで循環型社会への貢献を目指す企業さんです。



オンラインショップ
人気No.1
木の名刺入れ

コード類をすっきり
まとめられる
曲がる木でできた
ケーブルバンド



名古屋木材(株)様

- 創業 昭和20(1945)年
- 本社所在地 名古屋市中川区山王二丁目6番41号
- 企業サイト <http://www.meimoku.co.jp/>
meimoku LIGNO(メイモク リグノ)
- オンラインショップ <https://www.ligno-shop.jp/>



I/MWCabin(メイモクキャビン)

木の可能性を広げ、循環型社会に貢献

名古屋木材(株)さんは太平洋戦争時代に木材物資の統制会社として誕生以来、長い歴史と実績を誇る企業です。もともとは材木店に木材を卸す会社でしたが、次第にフローリングなどの建材の製造販売にも着手、同社の良質な無垢の床材はかつて多くの学校や体育館、名古屋城天守閣などにも使われてきました。

現在、同社は顧客のオーダーに合わせたサイズ・形状で提供するプレカット加工をはじめ、構造用資材、各種建材・住宅設備など幅広い製品を取り扱っています。そんな中、近年力を入れているのが圧縮木材の分野。木材は本来、圧縮すると硬くなりますが、同社では大学とタッグを組んで研究を行い、強さとしなやかさを兼ね備えた新しい圧縮技術を開発し共同特許を取得。スギやヒノキなどの国産材を使った「LIGNOTEX®」(リグノテックス)と「LIGNOFLEX®」(リグノフレックス)は同社の登録商標となっており、前者はエンジニアリングプラスチックに匹敵する強度性能、後者は木目方向に沿って曲がる柔軟性が最大の特徴です。

同社ではこの素材を使ったシステム手帳や名刺入れ、マスクケース、ケーブルバンドなどデザイン性の高い雑貨を商品化。いずれも木目の美しさや温もりある質感が魅力で、数々のメディアにも取り上げられています。また、この素材の特性を生かした高機能のゴルフパターやスピーカーなども話題を呼んでいます。

これらの商品が生まれた背景には、環境負荷の高い石油由来の材料を循環資源である木材に転換していけたら、という同社の熱い思いがあります。これまでなかったようなところにも木が使えるよう、木材を「極め、見分け、生かす」ことを通じて循環型社会の実現を目指す名古屋木材(株)さん。自然からの最高の贈り物である木材の可能性をさまざまな場所、人へと発信し提供し続けています。

Information

News
印刷工場内に「紙積み機」を導入
オペレーターの働きやすい環境に改善!!

去る2022年11月10日に働き方改革の一環で「紙積み機(ミュールジョガー mini)」を導入しました。印刷オペレーターの「紙積み作業」という重労働からの負担軽減となり、静電気、紙粉を防止する「用紙の最適化」を図り、生産効率を高めます。



作業の簡略化、軽作業化により、腰痛等の心配がグンと少なくなります。

News
優秀賞(一般の部)を当社デザイナーが独占
第13回ポスターグランプリ

第13回ポスターグランプリ(中部5県の印刷工業組合と愛知県印刷協同組合が主催)において、駒田印刷デザイングループの塚本晋吉(写真下)が岐阜県知事賞、宮丸貴臣(写真上)が愛知県知事賞と揃って優秀賞を受賞しました。一般の部、大学・専門学校の部、高校生の部があり、それぞれ優秀賞は2名ずつ(応募作品432点)。惜しくもグランプリ(最優秀賞)は専門学校生の方に譲りましたが、駒田印刷のデザイナーが優秀賞一般の部を独占です。



10月30日、愛知県芸術文化センターにて表彰式が行われました。